

[S41☆]

物理系薬学部会シンポジウム：物理系薬学が拓く創薬科学の未来

📅 2026年3月28日(土) 13:10～15:10 📍 第17会場 (A201 第3学舎1号館 A棟 [2F])

オーガナイザー：清水 敏之 (東大院薬)、福澤 薫 (阪大院薬)、上田 卓見 (阪大院薬)

物理系薬学とは、薬学の基盤となる学問領域であり、物理化学、分析化学、放射化学、製剤学、錯体化学、分子構造学、構造生物学、イメージング、ドラッグデリバリー、情報科学などの広範な学問分野から成り立っている。物理系薬学部会では、若手研究者のモチベーション向上を目指して「物理系薬学部会奨励賞」を設け、部会において意欲的に研究を行い、将来を期待される研究者を薬学会年会の一般シンポジウムにおいて表彰している。本シンポジウムでは昨年度の物理系薬学部会奨励賞受賞者2名による講演として、「アミノ酸残基のキラル識別分析法開発と劣化タンパク質におけるD型残基スクリーニング」および「固相重合技術による機能性共重合体の合理的設計に基づくDDSキャリア開発に関する研究」について紹介していただく。また、ねじれ型分子内電荷移動に基づいた蛍光プローブの創製、抗体-放射性同位元素複合体の分子設計、生成AIとシミュレーションの融合による分子設計など物理系薬学分野における最先端の研究を行っている若手研究者から研究を紹介して頂く。本講演ならびに討論を通して物理系薬学の更なる発展に資することを目的とする。

🕒 13:10～13:15

オーガナイザー挨拶
清水 敏之 (東大院薬)

🕒 13:15～13:40

[S41-1]

アミノ酸残基のキラル識別分析法開発と劣化タンパク質におけるD型残基スクリーニング

○石井 千晴¹、村田 快太¹、秋田 健行¹、三田 真史²、村上 祐介³、植田 正¹、浜瀬 健司¹ (1. 九大院薬、2. KAGAMI、3. 九大院医)

🕒 13:40～14:05

[S41-2]

固相重合技術による機能性共重合体の合理的設計に基づくDDSキャリア開発

○土井 直樹¹、山内 行玄²、笹井 泰志³、葛谷 昌之¹、近藤 伸一¹ (1. 岐阜薬大、2. 松山大薬、3. 岐阜医療大薬)

🕒 14:05～14:25

[S41-3]

ねじれ型分子内電荷移動に基づいた蛍光プローブの創製

○花岡 健二郎¹ (1. 慶應大院薬)

🕒 14:25 ~ 14:45

[S41-4]

がんセラノスティクスを指向したantibody-radionuclide conjugateの分子設計戦略

○中島 一磨¹、渡邊 裕之¹、小野 正博¹ (1. 京大院薬)

🕒 14:45 ~ 15:05

[S41-5]

生成AIとシミュレーションの融合による分子設計

○寺山 慧^{1,2} (1. 横浜市大生命医、2. 東京科学大生命理工)

🕒 15:05 ~ 15:10

総括

福澤 薫 (阪大院薬)